

日立かな

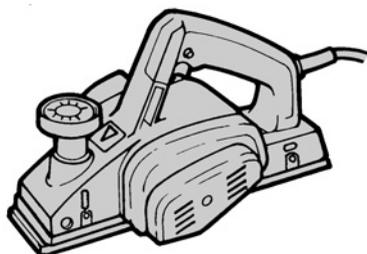
FP 20SB

〔替刃式〕

このたびは日立家庭用かなをお買い上げいただき、ありがとうございました。

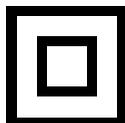
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。

お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



切削幅 82 mm

二重絶縁



目次	ページ
電動工具の安全上のご注意	1～4
● 二重絶縁について	
かなの使用上のご注意	5・6
各部の名称	7
● 付属品	
用途	8
ご使用前の準備	8
ご使用前の点検	9
使いかた	10～12
替刃式かな刃のはずしかた	13
替刃式かな刃の取り付けかた	14
替刃式かな刃の刃高調整のしかた	15～17
別売部品のかんな刃の取り付けと 刃高調整のしかた	18・19
別売部品のかんな刃のはずしかた	20
別売部品のかんな刃の 研ぎ出しについて	21
別売部品	22
点検、手入れについて	23
仕様	24
アフターサービスについて	24～26

⚠警告、⚠注意、注の意味について

ご使用上の注意事項は「⚠警告」と「⚠注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。また、「注」の意味も説明します。

⚠警告： 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意： 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、「⚠注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

注： 製品の据付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

電動工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠ 警 告

- ① 作業場は、いつもきれいに保ってください。
 - ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② 作業場の周囲状況も考慮してください。
 - 電動工具は、雨中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
 - 作業場は十分に明るくしてください。
 - 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
- ③ 感電に注意してください。
 - 電動工具を使用中、身体を、アース（接地）されているものに接触させないようにしてください。
（例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠）
- ④ 子供を近づけないでください。
 - 作業員以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
 - 作業員以外、作業場へ近づけないでください。

⚠ 警 告

- ⑤ 使用しない場合は、きちんと保管してください。
 - 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または錠のかかる所に保管してください。
- ⑥ 無理して使用しないでください。
 - 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
- ⑦ 作業に合った電動工具を使用してください。
 - 小形の電動工具やアタッチメントは、大形の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
 - 指定された用途以外に使用しないでください。
- ⑧ きちんとした服装で作業してください。
 - だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので、着用しないでください。
 - 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。
 - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
- ⑨ 保護メガネを使用してください。
 - 作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
- ⑩ 防音保護具を着用してください。
 - 騒音の大きい作業では、耳栓、イヤマフなどの防音保護具を着用してください。
- ⑪ コードを乱暴に扱わないでください。
 - コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
 - コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
- ⑫ 加工する物をしっかりと固定してください。
 - 加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。
- ⑬ 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。

…電動工具の安全上のご注意

警告

- ⑭ 電動工具は、注意深く手入れをしてください。
- 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
 - 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - コードは定期的に点検し、損傷している場合は、修理をお買い求めの販売店、または日立工機(株)の修理窓口に依頼してください。
 - 延長(継ぎ)コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
 - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態を保ち、油やグリースが付かないようにしてください。
- ⑮ 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 使用しない、または、修理する場合。
 - 刃物、トイシ、ビットなどの付属品を交換する場合。
 - その他、危険が予想される場合。
- ⑯ 調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。
- 電源を入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。
- ⑰ 不意な始動は避けてください。
- 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
 - 電源プラグをコンセントに差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
- ⑱ 屋外使用に合った延長(継ぎ)コードを使用してください。
- 屋外で使用する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長(継ぎ)コードを使用してください。
- ⑲ 油断しないで十分注意して作業を行なってください。
- 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
 - 常識を働かせてください。
 - 疲れているときは、使用しないでください。

警 告

- ⑳ 損傷した部品がないか点検してください。
- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また、所定機能を発揮するか確認してください。
 - 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
 - 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、修理をお買い求めの販売店、または日立工機(株)の修理窓口にご相談ください。
スイッチが故障した場合は、修理をお買い求めの販売店、または日立工機(株)の修理窓口にご相談ください。
 - スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。
- ㉑ 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
- この取扱説明書および当社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメント以外のもを使用すると、事故やけがの原因になる恐れがあるので、使用しないでください。
- ㉒ 電動工具の修理は、専門店で依頼してください。
- この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - 修理は、必ずお買い求めの販売店、または日立工機(株)の修理窓口にお申し付けください。
修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になります。

■二重絶縁について

電気の流れる所と本体との間が、異なる二つの絶縁物で絶縁されていることを言います。たとえ一つの絶縁物がこわれても、もう一つの絶縁物で保護されていて感電しにくくなっています。

お求めのканなは二重絶縁をしてあり、銘板に回マークで表示してあります。異なった部品と交換したり、間違って組立てたりすると二重絶縁構造でなくなります。

電気系統の分解、組立や部品の交換はお買い求めの販売店、または日立工機(株)の修理窓口にご用命ください。

かんなの使用上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、かんなとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠ 警 告

- ① 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。

表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。

①



- ② 使用中は、本体を確実に保持してください。

確実に保持していないと、けがの原因になります。

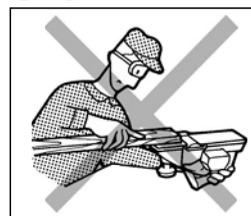
- ③ 切削する材料は、安定性のよい台に置いて作業してください。

台が不安定ですと、けがの原因になります。

- ④ 材料を手にとっての切削はしないでください。

かんな刃に触れ、けがの原因になります。

④ ⑤



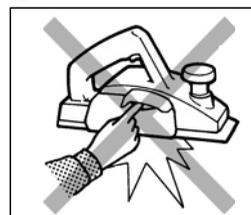
- ⑤ 本体を万力などで保持して、かんな刃を上向き（定置形）にした使い方はしないでください。

かんな刃に手や身体が触れ、思わぬけがの原因になります。

- ⑥ 使用中は、切粉排出口に指などを入れないでください。

回転しているかんな刃に触れ、けがの原因になります。

⑥



- ⑦ 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音が出たときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、点検・修理をお買い求めの販売店、または日立工機(株)の修理窓口に依頼してください。

そのまま使用していると、けがの原因になります。

- ⑧ 誤って落としたり、ぶつけたときは、機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。

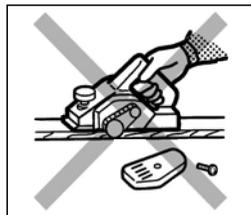
破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

⚠ 注 意

- ① かな刃や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。

確実にしないと、はずれたりし、けがの原因になります。

①



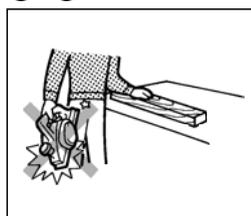
- ② かな刃の取扱いには、手袋、布などで手を保護し、十分注意してください。

不用意に扱うと、切り傷の原因になります。

- ③ 使用中は、本体の底面に手など身体を近づけないでください。

かな刃に触れ、けがの原因になります。

③ ⑥



- ④ ベルトカバーの底面は、ベルトが覆われていないので、使用中、手などを近づけないでください。

ベルトに手が触れ、けがの原因になります。

④



- ⑤ かな刃の交換や刃高調整後は、かな刃取付ボルトを十分に締め付けてください。

ボルトがゆるむと、思わぬけがの原因になります。

- ⑥ スイッチを切った後も、惰性で回転しているかな刃に注意してください。

手などが触れると、けがの原因になります。

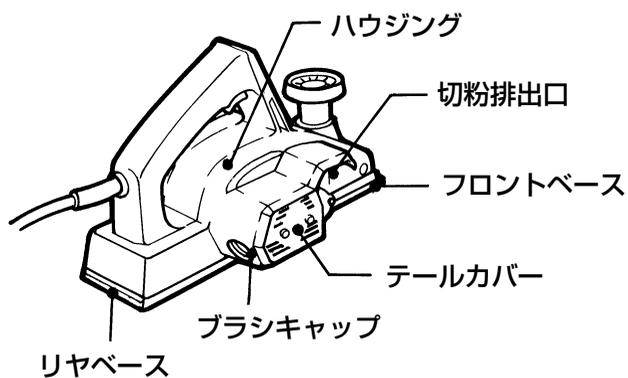
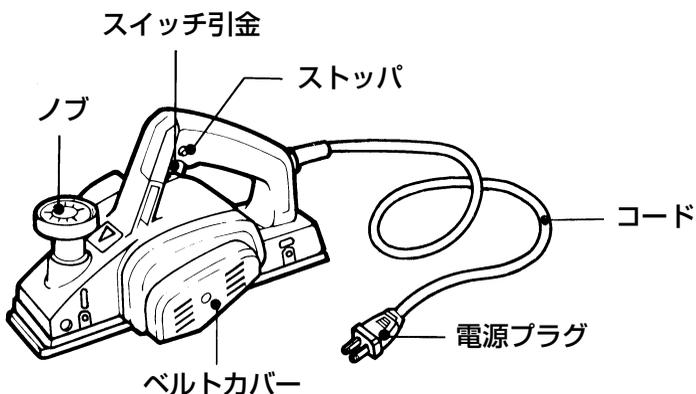
⑤



- ⑦ 回転させたまま、台や床などに放置しないでください。

けがの原因になります。

各部の名称

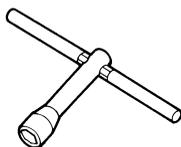


形状などの一部を変更している場合があります。

付属品

スパナ

1個

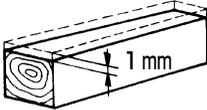


用途

木材のかんな削り

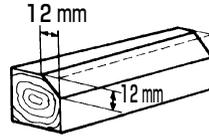
● 平削り

1回削るときの最大切り込み
深さです。

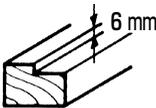


● 面取り

フロントベースの溝を使って
最大で12 mmまで削れます。

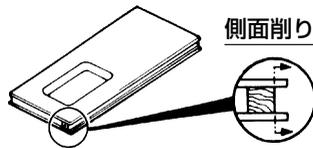


● 相じゃくり



別売のガイドを使って最大で
6 mmまで削れます。

● フラッシュドアの側面削り



別売のガイドを使うと便利です。

ご使用前の準備

作業場は整頓をし、明るくしてお使いください。

● 漏電しゃ断器の設置をおすすめします

二重絶縁構造製品は法律により漏電しゃ断器の設置が免除されていますが、万一の感電防止のため、漏電しゃ断器の設置をおすすめします。

● 作業台を用意します

しっかりした木製の作業台をご用意ください。作業中にぐらつくと危険です。

● 延長(継ぎ)コードを用意します



● 延長(継ぎ)コードは損傷のないものを用意してください。

電気が流れるのに十分な太さのできるだけ
短いコードをご使用ください。

右表は使用できるコードの太さ(導体公称
断面積)と、最大の長さです。

コードの太さ mm ²	最大の長さ m
0.75	20
1.25	30
2	50

ご使用前の点検

⚠ 警告

- ご使用前に次のことを確認してください。1～3項については、電源プラグをコンセントに差し込む前に確認してください。

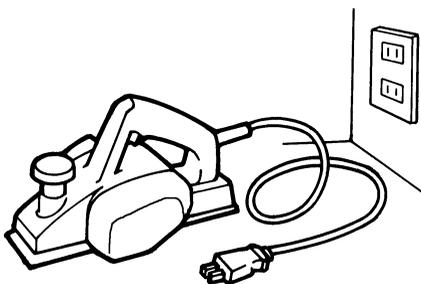
1 かな刃を締め付けます

ボルトは締め付けてありますが念のため電源プラグをコンセントに差し込む前にスパナでもう一度締め付けてください。



2 スイッチが切れていることを確かめます

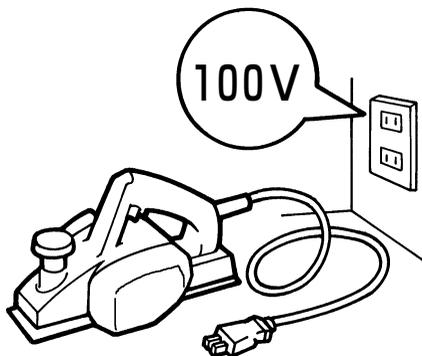
スイッチが入っているのを知らずに、電源プラグをコンセントに差し込むと、不意に動き思わぬけがの原因になります。スイッチは引くと入り離すと切れます。



3 電源を確かめます

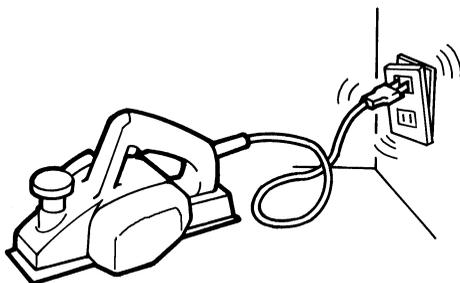
お求めのかなは 100 V 用です。200 V 電源に接続すると、モーターの回転が異常に高速となり、破損するおそれがあります。

また、直流電源で使用しないでください。かなの損傷をまねくだけでなく危険です。



4 コンセントを確かめます

コンセントががたついたり、電源プラグが抜けるようだと修理が必要です。そのまま使用すると危険です。電気工事店にご相談ください。



⚠ 警告

- 使用中に異常音や異常振動など機体の調子に異常を感じたときは、直ちにスイッチを切り、点検・修理に出してください。

⚠ 注意

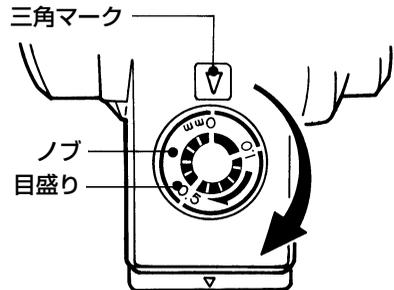
- ベルトカバーの底面はおおわれていますので、回転中は手を近づけないでください。
巻き込まれるおそれがあります。



準備をします

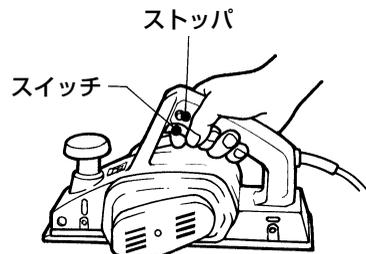
1 切り込みの深さを調節します

0 から 1 mm まで調節できます。
ノブを矢印の方向に回し、削りたい深さの目盛りを三角マークに合わせます。



2 スイッチを入れます

スイッチをいっぱいに引きます。連続運転は、スイッチをいっぱいに引いた状態で、ストッパを押します。スイッチを切るときは、もう一度スイッチを引きストッパがはずれてから指をはなします。



○騒音防止規制について

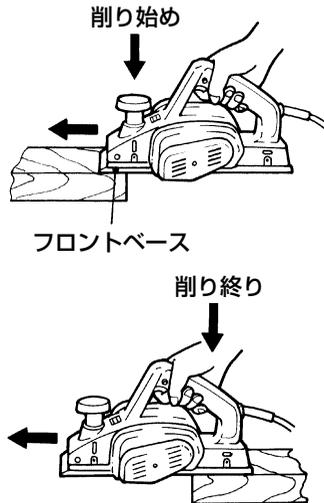
騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。
ご近所に迷惑をかけないよう、規制値以下でご使用になることが必要です。
状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

削ります

- 注**
- 木材以外の削りには使用しないでください。
 - 切削中に、かんなの向きや動かす速度を急激に変化させるような作業はさけてください。
替刃式かんな刃やセットプレートの損傷をまねくおそれがあります。
 - 削る面は、かんな刃をいためないためにあらかじめ釘や異物を取り除いてください。
 - ケヤキなどの硬い材料を削るときは、かんな刃の切れ味が極端に悪くなりますので、切り込み深さを0.3mmぐらいにし、ゆっくり動かしてください。
また、予備のかんな刃を準備してください。

フロントベースを木材の上ののせ、かんなを水平に支えます。スイッチを入れそのまま静かに前へ動かします。

削り始めは前方に力を入れ、削り終りは後方に力を入れて、いつもかんなを水平に動かしてください。



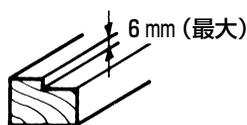
■荒削りと仕上げ削りについて

荒削りは、切り込みを深くすると能率的に削れます。

仕上げ削りは、切り込みを浅くし、ゆっくり動かすときれいに削れます。

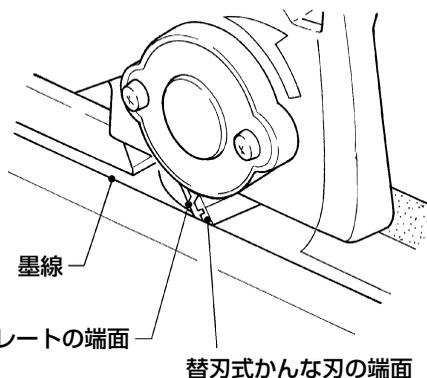
■相じゃくりについて

木材に段差をつけて切削を行なう場合は別売部品のガイドをご使用ください。



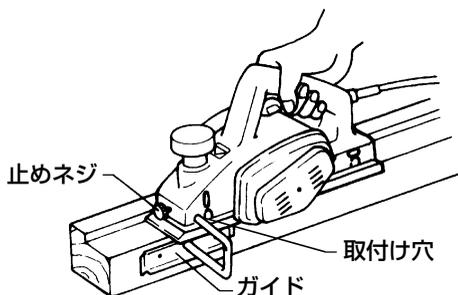
まず木材の削りたい位置に墨線を書き、替刃式かな刃の端面を墨線に合わせます。

- 注** ・セットプレートの端面から替刃式かな刃の端面が少し出ていることを確認してください。



ガイドを当てる面はあらかじめ削っておきます。

次に、ガイドを本体前部の取付け穴よりさし込み、木材の側面に当てて止めねじで固定します。そのまま木材の側面に沿って削ります。



- 注** ・ガイドは、木材の側面に確実に当て切削してください。すき間のある状態で切削しますと削り幅バラツキます。相じゃくり深さは最大で6 mmです。

替刃式かな刃のはずしかた

⚠ 警告

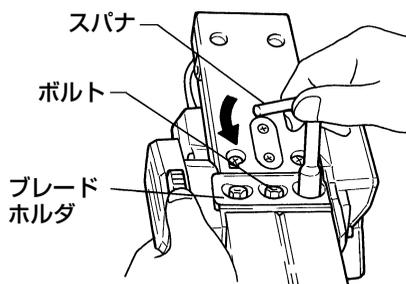
- 万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いておいてください。

⚠ 注意

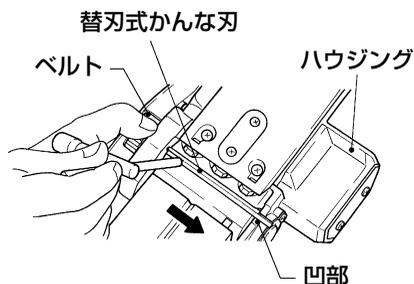
- 刃先で指を切らないように注意して行なってください。

- 注** • かな刃、ブレードホルダの交換時は、必ずそれぞれ「一对」で交換してください。
バラバラで交換するとバランスが悪くなり、振動が出て、機体の寿命を低下させます。

- 1** ブレードホルダを固定しているボルト3本をスパナで軽くゆるめます。



- 2** 替刃式かな刃をハウジングの凹部に合わせ、ベルト側よりスパナの柄などで押しはずします。



- 3** ベルトを回し、反対側も同様にしてはずします。

替刃式かな刃の取り付けかた

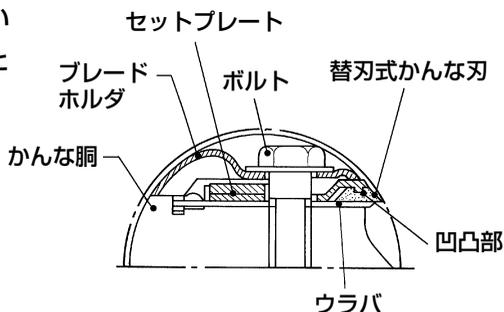
⚠ 警告

- 万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いておいてください。

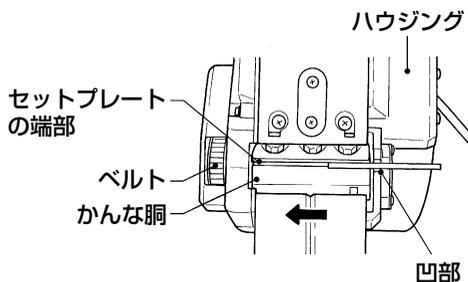
⚠ 注意

- ボルトは十分に締め付けてください。

- 1** 替刃式かな刃やかな胴に付いている削りくずをきれいにふきとります。

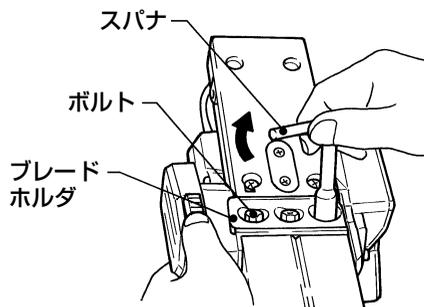


- 2** セットプレートの端部をハウジングの凹部に一致させ、その位置でベルトの反対側より、セットプレートの凹凸部に合わせて替刃式かな刃を挿入します。



- 注** • 切粉排出側のセットプレート端面から替刃式かな刃の端面が少し出ていることを確認してください。

- 3** スパナでボルト3本を十分に締め付けます。



替刃式かな刃の刃高調整のしかた

⚠ 警告

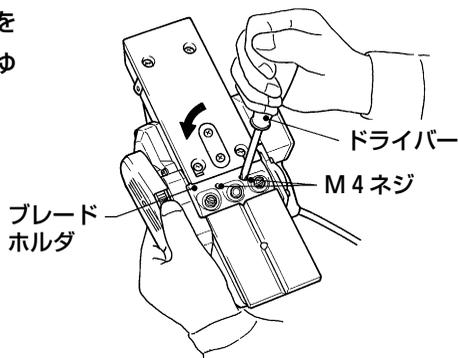
- 万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いておいてください。

⚠ 注意

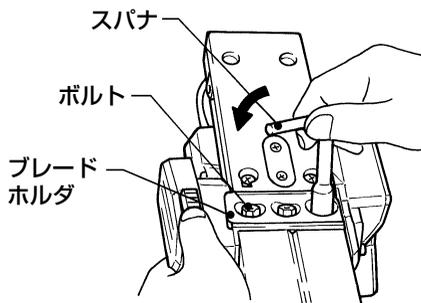
- 刃先で指を切らないように注意して行なってください。
- ボルトは十分に締め付けてください。

- 注** • 替刃式かな刃は、工場出荷時に刃高調整されており、調整の必要はありませんが、万一、刃先がベースの面より極端に出すぎていたり、引込んでいる場合は、別売部品の定規をお買い求めの上、以下に示す手順で調整してください。

- 1** ブレードホルダの穴に、ドライバーをさし込み、M4ネジ2本を約1回転ゆるめます。



- 2** ブレードホルダを固定しているボルト3本を付属品のスパナでブレードホルダの座面からはなれる程度にゆるめます。

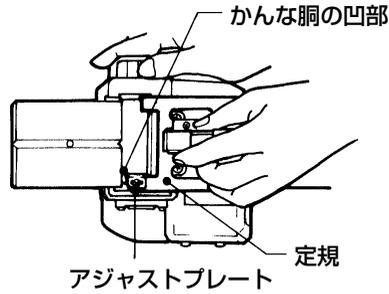


- 注** • 切粉排出側のセットプレート端面から替刃式かな刃の端面が少し出ていることを確認してください。



3 替刃式かな刃を差し込みます。

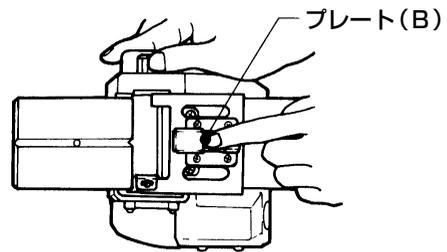
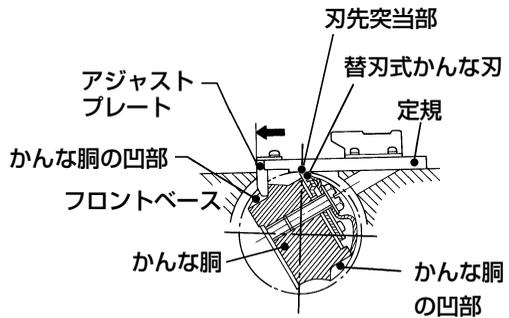
4 定規で刃先を押しながら、アジャストプレートをかんな胴の凹部に入れます。



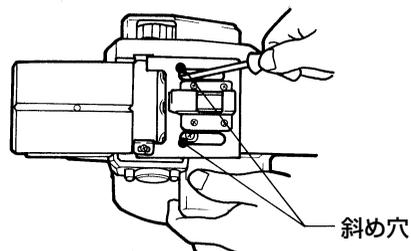
5 ベルトを回して定規のアジャストプレートをフロントベースに当て、プレート(B)を押して定規をリヤベースに密着させます。

注

- 定規の磁石に小さい釘などがついてしまうと刃高の精度が悪くなる場合があります。釘などがついていないことを確かめてからご使用ください。
- 定規をベース面にのせたとき、替刃式かな刃の凹部がセットプレートの凸部に挿入された状態で、替刃式かな刃とセットプレートが同時に上下することを確認してください。

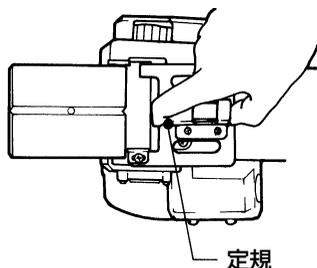


6 ドライバーで外側のボルト2本を仮締めします。ボルトは交互に少しずつ締め付けてください。



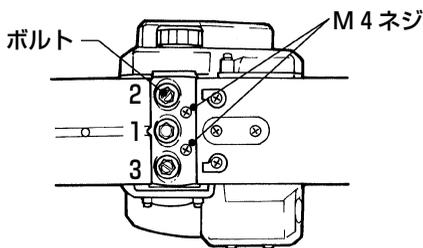
…替刃式かな刃の刃高調整のしかた

- 7 定規の先端を持ち上げてはずします。



- 8 スパナで3本のボルトを1、2、3の順に、2～3回くり返し締め付けます。

注 ・スパナの柄に、パイプなどを差し込んで締め付けないでください。
ねじ山を傷めます。



- 9 M4ネジ2本を十分に締め付けます。

- 10 反対側も同様にして、替刃式かな刃を取り付けます。

別売部品のかんな刃の取り付けと刃高調整のしかた

警 告

- 万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いておいてください。

注 意

- 刃先で指を切らないように注意して行なってください。
- ボルトは十分に締め付けてください。

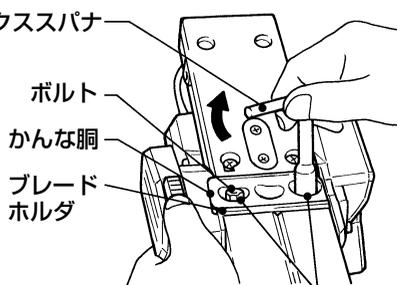
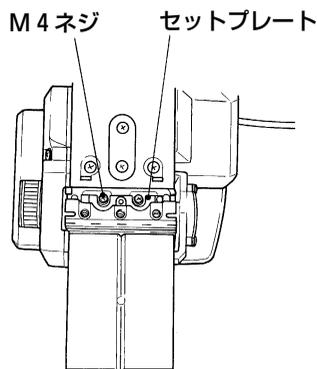
- 注** • かな刃、ブレードホルダの交換時は、必ずそれぞれ「一对」で交換してください。
バラバラで交換するとバランスが悪くなり、振動が出て、機体の寿命を低下させます。

1 13ページの「替刃式かな刃のはずしかた」を参照して、ブレードホルダと替刃式かな刃をはずします。

2 M4ネジ2本をゆるめて、セットプレートとM4ネジをはずします。

3 かな胴の上にブレードホルダの穴位置を合わせ、ボルト2本でブレードホルダを軽く締め付けます。

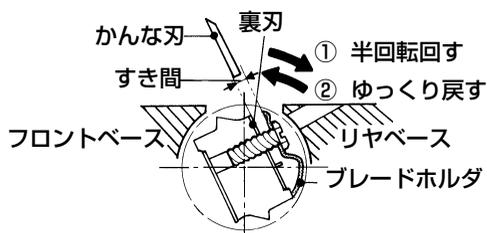
このとき、ボルトは頭部にマイナス溝付のボルトを使用し、外側に2本だけ取り付けます。



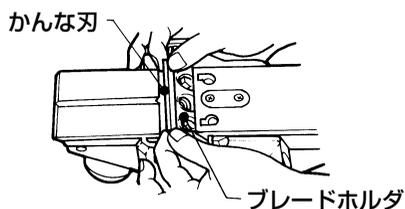
外側のボルト
(マイナス溝付)

…別売部品のかんな刃の取り付けと刃高調整のしかた

- 4** ベルトを回し、裏刃とブレードホルダの間にかんな刃が入るようにすき間をあけます。
矢印①の方向に半回転回し、次に矢印②の方向にゆっくり回すとすき間があきます。
あけ過ぎないように外側のボルト2本を回して調節します。



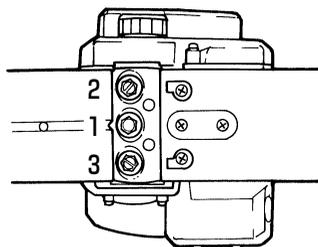
- 5** かんな刃を差し込みます。



- 6** 15ページの「替刃式かんな刃の刃高調整のしかた」を参照して刃高調整をします。

- 7** 真ん中のボルトを取りつけ、スパナで3本のボルトを1、2、3の順に、2～3回くり返し締め付けます。

注 ・スパナの柄に、パイプなどを差し込んで締め付けしないでください。
ねじ山を傷めます。



- 8** 反対側も同様にして、かんな刃を取り付けます。

別売部品のかんな刃のはずしかた

⚠ 警告

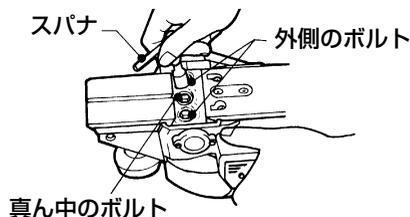
- 万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いておいてください。

⚠ 注意

- 刃先で指を切らないように注意して行なってください。

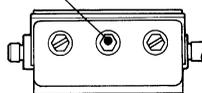
- 1** スパナで外側のボルト2本をゆるめま
す。そのあと軽く締め直します。

- 注** • ボルトは抜き取らないでくだ
さい。

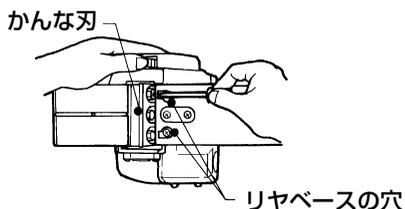


- 2** スパナで真ん中のボルトをゆるめて抜
き取ります。

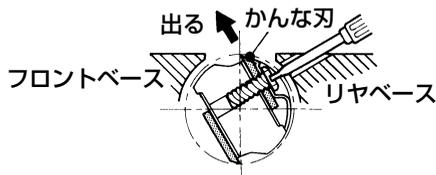
真ん中のボルトだけを抜き取る



- 3** リヤベースの穴にドライバーを入れ、
外側のボルト2本をゆるめるとかんな
刃が数ミリ出ます。

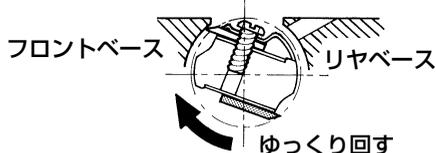


- 4** 指先でかんな刃をはずします。



- 5** ベルトを回し、反対側も同様にしては
ずします。

- 注** • フロントベースの内側にかんな
刃が出てしまったときは、必ず
かんな胴を矢印の方向にゆっく
り回してください。



別売部品のかんな刃の研ぎ出しについて

- 注** • かな刃の丈は2枚とも合わせるように研いでください。かな刃の丈が合っていないと振動の原因になります。

かな刃を研ぐときは別売部品の刃研ぎ保持具を使用します。

● かな刃を研ぐ時期

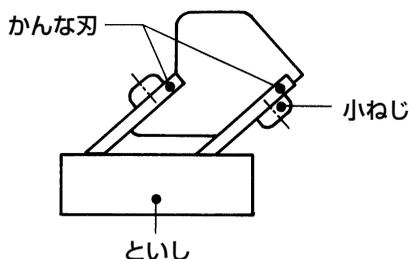
木材の種類、切り込み深さなどで異なりますが、500 mほど削ったら研ぎ直し、いつも切れるようにしてお使いください。



1 刃研ぎ保持具の使いかた

図のようにかな刃を取りつけて、2枚同時に同じ角度で研ぐことができます。

2枚の刃先が同時にといしに当たるように調整して、小ねじを締め付けてください。

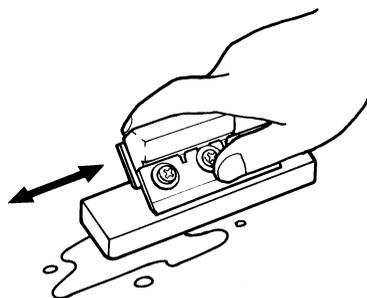


2 研ぎかた

といしを水に十分浸してから、かな刃を矢印の方向に動かして研ぎます。

● かな刃の研ぎ代

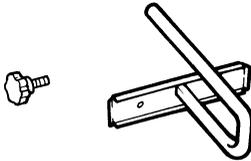
かな刃の丈が25.4 mmになるまで研ぎ直して使えます。



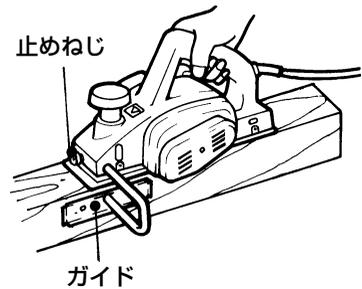
別売部品

日立電動工具販売店でお求めください。(別売部品は生産を打ち切ることがあります。)

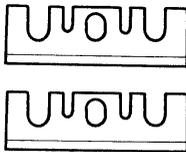
ガイド組(止めねじ付)



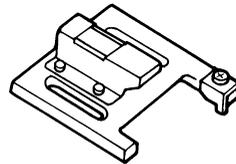
止めねじの別売もあります。



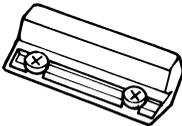
かんな刃(高速度鋼チップ付) かんな刃(超硬チップ付)



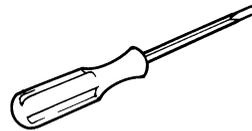
刃高調整定規



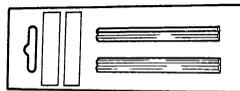
刃研ぎ保持具



ドライバー (マイナス)



替刃式かんな刃



点検、手入れについて

警告

- 点検・手入れの際は、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いておいてください。

● かな刃の点検

切れなくなったまま使用すると、モーターに無理がかかり作業の能率も落ちます。かな刃を研ぐか新品と交換してください。交換するときは、二枚のかな刃を同時に行なってください。別々に行なうとバランスが悪くなり、かなの寿命を縮めます。

● 取り付けねじの点検

時々点検して、ゆるんでいたら、締め直してください。そのまま使用すると危険です。

● カーボンブラシの点検・交換

カーボンブラシは消耗品です。長さが使用限度になりましたら、新品と交換してください。

- 注** ● 交換の際は必ず「日立カーボンブラシ 21 番」とご用命ください。

〔点検・交換のしかた〕

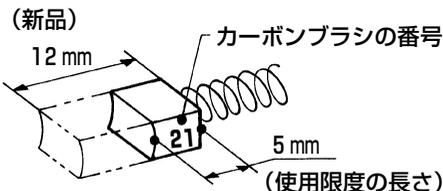
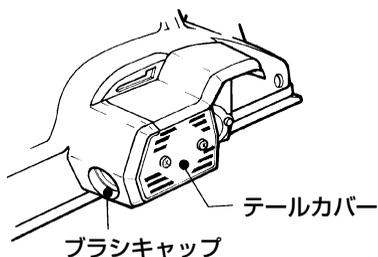
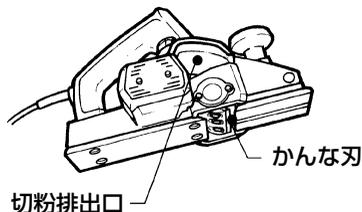
テールカバーをはずし、マイナスドライバーでブラシキャップをはずしますと取り出せます。

● 本体はきれいに

石けん水に浸した布でふいてください。ガソリン、シンナー、灯油は変形の原因になるので使用しないでください。

● かな刃のまわりをきれいに

使用後は、切粉排出口などについた削りくずを取り除いてください。



■ 保管場所について

次の場所には保管しないでください。

- お子様の手が届いたり、持ち出せる所。
- 軒先など雨がかったり、湿気のある所。
- 直射日光の当たる所。

仕 様

使 用 電 源	単相交流 50 / 60 Hz 共用 電圧 100 V
切 削 幅	82 mm
最大切り込み深さ	1 mm
無 負 荷 回 転 数	15000 min ⁻¹ { 15000 回 / 分 }
全 負 荷 電 流	4.8 A
消 費 電 力	460 W
モ ー タ ー	単相直巻整流子モーター
質 量	2.5 kg (コードを除く)
コ ー ド	2心キャブタイヤコード 2.5 m

アフターサービスについて

安全に能率よくご使用いただくために、定期的に点検に出されることをおすすめします。

正常に作動しないときは、ご自分で修理をなさらずお買い求めの販売店または日立工機(株)の相談と修理の窓口にご依頼ください。

また、アフターサービスについてご不明の場合、その他お困りの場合は、お買い求めの販売店または日立工機(株)の相談と修理の窓口にお問い合わせください。

…アフターサービスについて

相談と修理の窓口一覧表

(家庭電気製品の表示に関する公正競争規約による表示)

本製品についてのご相談や修理は、お買い求めの販売店へどうぞ。

この商品についてのご相談や修理は、お買い求めの販売店が承るようしております。転居されたり、贈物でいただいた場合などでお困りの場合は、お近くの相談と修理の窓口にご相談ください。なお、相談と修理の窓口の所在地、電話番号など、変わる場合がありますので、その節は裏表紙に記載の「電動工具お客様相談センター」をご利用ください。新しい所在地、電話番号をご案内いたします。

お住まいの地域	窓口の所在地	支店(部)名	電話番号
全 国	港 区	営業本部	(03) 5783 - 0626
北海道	札 幌 市	北 海 道	(011) 896 - 1740
青森、岩手、宮城、秋田、 山形、福島	仙 台 市	東 北	(022) 288 - 8676
茨城、栃木、群馬、埼玉、 東京、千葉、神奈川、 山梨、新潟、長野、 静岡県富士川以東	台 東 区	関 東	(03) 5812 - 6331
岐阜、愛知、三重、 静岡県富士川以西	名古屋市	中 部	(052) 262 - 3811
富山、石川、福井	金 沢 市	北 陸	(076) 263 - 4311
滋賀、京都、大阪、兵庫、 奈良、和歌山	西 宮 市	関 西	(0798) 37 - 2665
鳥取、島根、広島、岡山、 山口	広 島 市	中 国	(082) 504 - 8282
徳島、香川、愛媛、高知	高 松 市	四 国	(087) 863 - 6761
福岡、佐賀、長崎、熊本、 大分、宮崎、鹿児島、沖縄	福 岡 市	九 州	(092) 621 - 5772

メ 毛

